

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋1-1

ダイキン工業(株) 油機事業部企画部

TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865

2022年度（第15回）西日本支部総会開催

2022年度（第15回）西日本支部総会が、11月24日（木）15:30～16:10までの間、大阪府堺市の「ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺」の「利休の間」で開催されました。

当日は、丸岡西日本支部長及び支部会員の皆様方や本部から梶本会長を初め、副会長、監事、理事の皆様方に加え近畿経済産業局製造産業課長辻敦士課長殿を始めとするご来賓及び関連団体関係者等の皆様方出席の下、以下の議事次第により議事が進行し16:10に無事終了しました。



挨拶をする嶋村西日本支部長

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第15回西日本支部総会開催	1
2022年度理事懇談会	4
委員会開催・活動状況	
需要対策事業	5
振興対策事業	8
標準化事業	5
その他事業	8
技術調査事業	7
今後の主要行事予定	10
PL対策事業	7

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL: <http://www.jfpa.biz/>

なお、今回は支部総会の前にダイキン工業株式会社堺製作所臨海工場を訪問する見学会を行いました。

第15回西日本支部総会議事次第

- 1) 開会の辞
- 2) 前西日本支部長 挨拶
- 3) ご来賓 紹介
- 4) 会長 挨拶
- 5) ご来賓 祝辞
- 6) 本部報告
- 7) 支部報告
- 8) 新事務長 紹介
- 9) 新西日本支部長 挨拶
- 10) 閉会の辞

定刻に支部事務局より支部総会の開催宣言があり、前嶋村支部長より以下の挨拶がありました。

本日はお忙しい中、ご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。西日本支部総会では、会の前に、工場見学会をすることが恒例となっていますが、次はどこに行こうかと、幹事となる会社は、頭を悩ませております。今回は、エアコンを製造しているダイキン工業様の堺製作所臨海工場を見学させていただきました。家庭用というよりはビルや工場で使う大型のエアコンです。私どもの工場でもこのコロナ禍でマスクの着用をお願いしておりますが、熱中症などにならないように各職場では作業環境の改善に努めております。皆様の所でも同様にご苦労されているのではないのでしょうか。そういった意味では今日見学した堺臨海工場の中ではエアコンの製造ラインを見せていただいたと同時に、工場の中の作業に合わせた形での空調のソリューションもを見せていただき、大変参考になりました。そういった意味では今日の工場見学はこのコロナ禍という時節に合ったものだと思います。

今の状況は台湾海峡を巡る経済の安全保障という問題、ウクライナ危機に始まったエネルギー価格の上昇、素材を始めとする製造コストの上昇、急激な円安、また、サッカーのワールドカップで日本がドイツに勝つなど、予測できないことが次々と起こっております。ここでは笑ってもよいのですが(笑い)。このように経営環境が大変厳しい中、最近ではカーボンニュートラルに向けた活動もしなければなりません。当工業会の会員各社で製造する過程においてもまた我々の製品を使っているお客様にとっても CO2 削減問題に対して果たすべき我々の役割は大きいと思っております。

私が最近問題に感じていることは、油圧製品を運転する際に投入した電力はほとんどが熱になって大気に放出していますが、これを有効利用する手段もないということです。しかし、我々の製品の効率が上がればこれを使っているお客様の工場の電力を減らすことも出来ますので大変大きな課題だと思っております。ただ我々の会社でも水素を中心にカーボンフリーを進めようとしていますが、一社の力では大変難しいことも事実です。

最近のエポックメイキングとしては、トヨタ自動車の豊田社長が水素の仲間を増やそうとおっしゃっておられる一環で川崎重工のオフロードバギー車が 1000cc の水素エンジンを載せてサーキットを走るところまでできました。これは1年間という短期間で実現しました。

このような仲間を増やすといった取り組みを当工業会でも展開していく必要があると思いますが、本日ご出席いただいております日本フルードパワーシステム学会の早川会長を含めた産学のみならず、産官学の連携が必要ではないかと思っております。そういった意味では西日本支部というのは以前からかなりまとまっており、人間関係も築き易い環境にあるのではないかと感じております。本日の支部総会、懇親会、明日のゴルフ大会を通じて皆様の仲間作りに貢献出来ればと思っております。

そして最後になりますが、この会員各社様皆様のご健勝をご祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

その後、事務局から来賓の紹介があり、梶本会長より以下の挨拶がありました。



挨拶をする梶本会長

只今ご紹介賜りました工業会会長の梶本です。本日は大変多くのご来賓の方々にご臨席を賜り誠にありがとうございます。西日本支部総会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

私は、この5月に安藤前会長の後を受けて会長に選任され、活動させていただいております。丁度一年前のこの西日本支部総会で、前会長は、AIを活用

した工場の無人化稼働や省力化に向けた様々な「デジタル」の取り組みやSDGsの取り組みについての重要性をお話されました。私も同感でございまして、先日工業会の中小企業委員会にて、「SDGsとビジネス」という題目で、わが社の取り組みをお話させていただきました。この要旨につきましては最近発刊されました機関誌フルードパワー秋号に載っておりますので、ご興味のある方はご覧ください。

また、もうひとつ充実させていきたい活動としては産学協力の取り組みがあります。ご承知の通り、今回香川先生と眞田先生のご両名が、日頃のフルードパワー分野での標準化活動が認められ、経済産業大臣から表彰を受けられました。このように、当業界は先生方にご大変お世話になっておりますが、もう少し、産学連携を進められないかと考え、学会の早川会長にご相談して、「産学連携フルードパワー技術コンサルティング制度」を始める準備をしております。詳しくは、後で事務局から説明があると思いますが、この辺りもうまく活用できれば業界の更なる発展に寄与できるのではないかと考えております。

さて、世界情勢を見ると、2月にロシアがウクライナに侵攻して始まった紛争は、依然として先行きは見えず、穀物やエネルギー不足からの価格高騰に加え、米中の政治経済のデカップリング化の動きや中国のゼロコロナ政策による経済の減速など、不安定要素が益々増大してきております。また、円安による輸入部材の値上がりも懸念材料となっております。このような中、この4月に行った今年・今年度の需要見通しの見直しを、本日発表させていただきますが、油圧機器では、暦年で当初昨年比4.3%増を見込みましたが、0.9%増と減速予測となりました。これは、中国向け輸出の減少に起因しているものです。空気圧機器では、暦年で、対前年比7.2%増の予測から9.3%増との見直しとなりました。これは逆に輸出の伸びに起因しております。詳細は、資料を見ていただければと思いますが、この予断を許さない状況の中で、改めて、気を引き締めて経営を行っていく必要があると思います。

そして、今月8日から13日の6日間、東京ビッグサイトで、JIMTOF2022の展示会がありました。私も行きましたが、平日はもちろんのこと土日も多くの見学者で一杯でした。IT、AIやロボットを活用した工作機械などが展示されており、フルードパワーの市場としてやはり大きなものだと感じた次第です。ちなみに、全体で約15万人の来場者があり、海外からも、中国からのお客は少なかったようですが、1万5千人を数えたそうです。

このような危うい経済状況だからこそフルードパワー工業会のメンバーは、昨日、カタールの地で個の力とチームワークによりドイツから歴史的勝利を収めたサムライブルーのようにそれぞれの会社が自助努力をするとともに更に一致団結をしながら活動していくことが必要だと感じております。

最後になりますが、西日本支部の方々には、ダイキン工業様の素晴らしい堺製作所見学を含め、このような場を作っていただき心より感謝する次第です。西日本支部の方々とここに御来席のご来賓、会員各社様のご発展ご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

次に来賓を代表して近畿経済産業局製造産業課長辻敦士課長殿よりご挨拶をいただきました。



Webでご挨拶をされる辻敦士課長

つづいて、本部報告を行った後に支部報告・支部会計報告及び決算報告（案）について審議を求め了承されました。

新事務長の紹介の後、丸岡新西日本支部長より挨拶をいただきました。



挨拶をする丸岡新西日本支部長

本年よりフルードパワー工業会副会長兼西日本支部長を拝命しました、ダイキン工業株式会社の丸岡秀樹でございます。ご来賓の皆様、本日はお忙しい中ご列席いただき、誠にありがとうございます。本日はフルードパワー工業会本部、支部会員、フルードパワーシステム学会の方々計45名にご列席いただいております。ありがとうございます。会員の皆様方には、平素より工業会活動に多大なご支援を

賜り厚く御礼申し上げます。支部長就任にあたりご挨拶申し上げます。

まず、目まぐるしく変化する我々の業界を取り巻く環境について少しお話しさせていただきたいと思います。

各国の中央銀行が高インフレ退治のため大幅に金利を引き上げています。経済の状況は、これまでのデフレ・低金利から、インフレ・高金利の時代に大きく転換しました。米国、欧州、中国の景気が軒並み減速し世界経済はオイルショックの後以来のスタグフレーションに陥る懸念が現実味を増しています。

地政学リスクが高まり、政治の動向が経済や経営環境に大きな影響を及ぼしています。例えばウクライナ侵攻の影響から、欧州ではエネルギー価格や資源価格が高騰しております。世界経済が一体化している中、世界各地のあらゆるリスクを注視することが必要です。

また、足元日本では急速に進んだ円安が経済に大きな影響を与えております。また、コロナ第8波の兆しがあり、経済活動の停滞が懸念される状況です。

このような先行き厳しい時ですが、課題が山積している時こそ、次の飛躍へのチャンスを見出すことが重要です。

カーボンニュートラルの取組の加速や労働力不足の深刻化など世の中の構造的な変化は継続的に確実に進んでおり、より一層環境や経済の持続可能な社会の実現に向けた技術開発やモノづくりが求められることとなります。我々の業界ですと「環境負荷低減」や「自動化」が必須テーマになるのではないのでしょうか。業界で切磋琢磨し、新たな日本のモノづくりに貢献していきたいと考えています。

西日本支部長就任にあたり、微力ではございますが、フルードパワー業界の発展に向け努力して参りたいと存じます。何卒ご指導ご鞭撻を賜ります様よろしくお願い申し上げます。最後に、会員各社様のますますのご発展を祈念致しまして、支部長就任のご挨拶とさせていただきます。

以上議事が進み、定刻に無事終了いたしました。

2022 年度理事懇談会

支部総会終了後16:20から同じ会場で2022年度理事懇談会を開催しました。理事懇談会には、日本フルードパワーシステム学会の早川会長にもオブザーバーとして参加していただきました。今回は、審議事項がなく報告事項のみのため、出席定数の制限がかからない理事懇談会とし、理事15名、及び監事2

名が参加されました。梶本議長が、2022 年理事懇談会の開会を宣した後、来賓としてご出席の経済産業省製造産業局産業機械課の横山課長補佐様から、ご挨拶をいただきました。その後、議事に入り、以下の議案が報告されました。

第1号議案 2022 年・年度油圧空気圧機器需要見直し見直しについて

11 月に当会の総需要委員会及び油圧分科会並びに空気圧分科会を開催し、今般「2022 年・年度の需要見直し」の見直しを実施したことを報告しました。概要以下の通りです。

・油圧機器出荷額予測

歴年ベース出荷額

2021 年 出荷額（実績）

3,973 億円（対前年比 17.9%増）

2022 年 出荷額（見直し）

4,145 億円（対前年比 4.3%増）

→4,008 億円（対前年比 0.9%増）

年度ベース出荷額

2021 年度 出荷額（実績）

3,971 億円（対前年度比 16.0%増）

2022 年度 出荷額（見直し）

4,179 億円（対前年度比 5.2%増）

→4,013 億円（対前年比 1.1%増）

・空気圧機器出荷額予測

歴年ベース出荷額

2021 年 出荷額（実績）

5,537 億円（対前年比 34.4%増）

2022 年 出荷額（見直し）

5,936 億円（対前年比 7.2%増）

→6,054 億円（対前年比 9.3%増）

年度ベース出荷額

2021 年度 出荷額（実績）

5,708 億円（対前年度比 32.9%増）

2022 年度 出荷額（見直し）

6,160 億円（対前年度比 7.9%増）

→6,148 億円（対前年比 7.7%増）

第2号議案 産学連携技術相談窓口について

産学連携事業として、ホームページに「産学連携フルードパワー技術コンサルティングコーナー」を設けることを報告した。

第3号議案 2023 年年始会開催について

2023 年 1 月 11 日の年始会を東京プリンスホテル・マグノリアホールにて開催することを報告した。

第4号議案 IFPEX2024 の開催について

2024 年 9 月 18 日（水）～20 日（金）に東京ビッグサイト東館において開催することを報告した。

第5号議案 今後の主要日程について

来月の政策委員会以降、来年 5 月の定時総会までの主要日程を報告した。

その後、17:00 より「ガーデンコート」で、支部会員及び学会等の関係機関の方々と出席理事を交えた合同懇親会を開催しました。はじめに丸岡西日本支部長が開会の挨拶と乾杯を行い、参加者一同懇親を深めました。その後、和気あいあいのうちに散会しました。



合同懇親会 丸岡支部長挨拶

なお、翌日行われた「2022 年度西日本支部懇親ゴルフ会」は、20 名の参加者を得て、城陽カントリー倶楽部で開催され、(株)堀内機械の山本芳和殿が素晴らしい成績で優勝されました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

～～～～～～

需要対策事業

～～～～～～

総需要部会空気圧分科会

日 時 11 月 10 日（木）14:30～16:00

場 所 WEB 会議

出席者 植田主査以下 3 名

事務局 唯根

議 事

初めに中間委員から 2021 年・年度の各種経済機関が予測した経済予測をベースにした経済動向とそれに基づく当業界のマクロ予測の見直しについて詳細な説明を受けた。

積み上げ予測値の見直しについては、各委員から担当業種ごとに詳細な説明の後、意見交換を行った。その後、事務局で整理して 2022 年・年度需要見直し資料を作成し、各位委員宛に送付し確認作業を行った。

見直した数値については、西日本支部総会にて発表する予定としている。

総需要部会油圧分科会

日 時 11 月 11 日（金）14:30～16:00

場 所 WEB 会議

出席者 松井主査以下 7 名

事務局 唯根

議 事

初めに中間委員から 2021 年・年度の各種経済機関が予測した経済予測をベースにした経済動向とそれに基づく当業界のマクロ予測の見直しについて詳細な説明を受けた。

積み上げ予測値の見直しについては、各委員から担当業種ごとに詳細な説明の後、意見交換を行った。その後、事務局で整理して 2022 年・年度需要見直し資料を作成し、各位委員宛に送付し確認作業を行った。

見直した数値については、西日本支部総会にて発表する予定としている。

～～～～～～

標準化事業

～～～～～～

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 11 月 1 日（火）、13:30～16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 難波主査以下 7 名（うちリモート:7）

事務局 前畑

議 事

委員の交代があり、大生工業：水落桂委員から三宅孝明委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/DIS11500：コメントの PL 回答に対する賛否→各項目毎に賛否、ISO16431：定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO16860：定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO23181：定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO3724：定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/AWI/TR12144：WD 移行の賛否→反対、ISO4407：

CD 投票→コメントあり、ISO/AWI21018-1:CD 移行の賛否→コメント付き賛成、ISO23369:FDIS 投票→賛成、ISO21018-3:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO3968:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO11500:FDIS 投票→賛成、ISO/TR6049:WD のコメント収集→コメントなし、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、7/26 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC6/WG1 国際会議の報告があった。また、11/2 開催予定(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC6/WG1 国際会議、11/3 開催予定(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC6/WG2 国際会議、11/4 開催予定(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC6 国際会議、のアジェンダについて、内容を確認した。

次いで、ISO18413 (Hydraulic fluid power – Cleanliness of components – Inspection document and principles related to contaminant extraction and analysis, and data reporting) の JIS 制定について、原案作成作業を行った。

次回開催:2月15日、機械振興会館+リモート

空気圧システム分科会

日時 11月8日(火)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 鈴木主査以下5名(うちリモート:5)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO2944:定期見直し投票→改訂必要(Revise)、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、JISB0142 (油圧・空気圧システム及び機器—用語) の改正について討議した。空気圧用語に関して、各委員の検討結果について審議した。

次いで、JFPS2011 (空気圧用図記号の実用指針) の改正について討議した。主査の方で検討した改正案(変更必要箇所)に関して、各委員の検討結果を審議した。

次回開催:3月15日、機械振興会館+リモート

空気圧バルブ分科会

日時 11月9日(水)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 山崎主査以下4名(うちリモート:4)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票について、投票済み案件の報告があり、ISO15407-1:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO12238:FDIS 投票→賛成(Approval)、で投票したとのこと。また、新規投票案件を審議し、ISO5599-1:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO5599-2:定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、10/24 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC5/WG3 国際会議の報告があった。

次いで、JISB8672-2 (空気圧—試験による機器の信頼性評価—第2部:方向制御弁)の改正について、状況報告があった。今年度内には発行予定とのこと。
次回開催:3月8日、機械振興会館+リモート

油圧システム分科会

日時 11月15日(火)、13:30~16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 町田主査以下5名(うちリモート:5)

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO2944:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO18464:新規プロジェクト投票→賛成、ISO18582-3:新規プロジェクト投票→賛成、投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO1219-1:定期見直し投票→投票期限まで各委員にて検討することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、10/26 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC9/WG1 国際会議、及び 10/28 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC1/WG2 国際会議の報告があった(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、JISB0142 (油圧・空気圧システム及び機器—用語) の改正について、対応国際規格(ISO5598)と比較しながら改正作業を行った。

次回開催:3月7日、機械振興会館+リモート

*ISO 関連情報

- ・2022年秋季 ISO/TC131 関連国際会議が10~11月にウェブ会議にて開催された。
- ・2023年 ISO/TC131 関連国際会議は、春季:ドイツ・フランクフルト、秋季:アメリカ(都市未定)、にて開催予定。
- ・2022年 ISO/TC118/SC3&SC4 関連国際会議は、対面

会議として計画されている。

・今月開催された ISO 国際会議は下記の通り。会議の詳細については、別途、報告書を作成・発行します。

11/02：TC131/SC6/WG1：ウェブ会議：日本参加者 2

11/03：TC131/SC6/WG3：ウェブ会議：日本参加者 2

11/04：TC131/SC6：ウェブ会議：日本参加者 2

11/08：TC131/SC3/WG2：ウェブ会議：日本参加者 1

11/09：TC118/SC3/WG4：ウェブ会議：日本参加者 3

11/09：TC131/SC9/WG2：ウェブ会議：日本参加者 2

11/30：TC118/SC3/WG4：

スウェーデン・ストックホルム：日本参加者 3

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

空気圧部会・第 596 回特許分科会

日 時 11 月 11 日（金）13：30 ～ 14：50

場 所 Web 会議

出席者 安田幹事以下 4 名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について 3 件について引き続き調査を行うこととした。

次回開催：12 月 9 日（金） Web 会議

I o T 推進部会

日 時 11 月 25 日（金）、13:30～15:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 満嶋部会長以下 17 名（うちリモート：17）

事務局 前畑

議 事

今回の会合では、過去 4 回の講演から得られた知識・情報および委員各社にて取組中の活動に照らし合わせて、来年度の具体的な活動テーマについて議論した。

その結果、下記意見が出された。

①技術動向や他社事例等の情報収集の継続：IoT、AI、DX に関する具体的な技術内容のセミナー的な情報収集を実施する。各社の取組状況を相互に発表し情報共有する。IoT、AI、DX に関する展示会を視察し情報共有する。

②フルードパワー業界としての具体的な取り組みへの着手：フルードパワー業界として IoT を普及するための具体的なテーマを決定する（候補として、

通信規格の標準化、IoT の技術や知識に関するハンドブックの作成、共通利用可能なクラウドプラットフォームの構築など）。生産系と開発系にグループ化し、各々適切なテーマも模索する（例えば、生産系は工場設備への適用、開発系は新製品・サービスとしてのソリューションへの適用など）。

上記意見を基に、来年度活動計画を立案することとした。

次回開催：2 月 21 日、機械振興会館＋リモート

~~~~~

PL 対策事業

~~~~~

PL 保険セミナー

現在令和 5 年 団体総合保険制度への新規加入・継続加入を案内中を実施中であるが、「令和 5 年 団体総合保険制度（国内 CGL・国内 PL・海外 PL）」への新規加入・継続加入」のご案内を兼ね下記の通り PL 保険セミナーを開催した。今回は現在行っている団体総合保険制度（国内 CGL・国内 PL・海外 PL）に加え、これまでの団体包括賠償責任保険では対象とならない、経済的な損失（機会損失）の保証に加えて、新たに仕様誤り・仕様未達の場合等に生ずる当該製品の修理費用・交換費用を補償する保険「E&O 保険制度」を行うにあたり、その詳細についての説明を行った。

日時 2022 年 11 月 2 日（水） 15:10～16:30

場所 Teams による接続のみ

出席者 会員企業 8 社 12 名

セミナー名 『E&O 保険制度』のご案内

講師 ・ワールドインシュアランスエージェンシー

横山様 梅元様

事務局 大熊



プレゼン資料



開催状況

セミナーの資料及び開催状況の動画は、後日ホームページ会員サイトにて開示する予定。

~~~~~  
振興対策事業  
~~~~~

JIMTOF2022 第31回日本国際工作機械見本市

日 時 11月8日(火)～13日(日)

場 所 東京ビックサイト

11月8日(火)から13日(日)の6日間、東京ビックサイト全館にてJIMTOF2022 第31回日本国際工作機械見本市が開催された。前回JIMTOF2020がコロナ禍で中止となり、オンラインに切り替えて開催された事もあり、4年振りのリアル開催となった。60周年を迎えた今回のJIMTOF2022は、出展社数が1086社と歴代最多、展示ブースも前回から95小間増加した5619小間と、過去最大規模での開催となった。

当会からはASK(株)、CKD(株)、ENEOS(株)、NOK(株)、SMC(株)、アズビルTACO(株)、(株)正和、ダイキン工業(株)、大生工業(株)、千代田通商(株)、トリプルアール(株)、ニッタ(株)、日東工器(株)、日本エンギス(株)、(株)日本ピスコ、(株)ハイダックの計16社が出展した。

来場者数合計は114,158人(重複なし)となっており、前回開催時の約25%減となった。特に土曜、日曜の来場者減が大きく影響している。また、海外からの来場者も4,686人となり、前回から約63%減少した。新型コロナウイルスの展示会への影響がまだあるものと考察される。

~~~~~  
その他事業  
~~~~~

2022年度 第2回目 基礎講座(初級)

2022年度第2回目の油圧、空気圧基礎講座(座学、製品実習)を6月に続き実施した。油圧基礎講座(座学)については10月末に実施しており、11月での開催は、油圧基礎講座(製品実習)、空気圧基礎講座(座学と製品実習)の3講座で、参加者は総勢10社13名であった。

以下に油圧と空気圧における基礎講座の実施状況を示す。

油圧基礎講座【製品実習】

日時 2022年11月11日(金) 13:30～16:30

場所 川崎重工業(株) 精密機械・ロボット

カンパニー 研修センター(西神戸工場内)

参加 5社 9名

講師 川崎重工業(株) 原田様

事務局 大熊

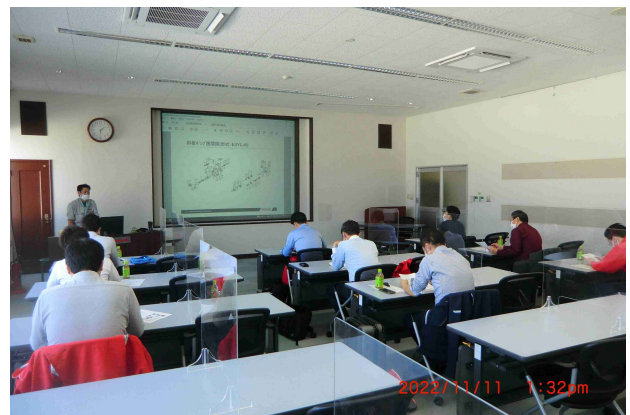
製品内部の構造を確認しながら、分解及び組み立てを行った。対象製品は以下の通り。

- ・斜板ポンプ
- ・ギヤーポンプ
- ・油圧電磁弁
- ・油圧シリンダ

特に斜板ポンプについては製品の構造上はめ合いの精度が高く、組立の段階で苦労している人が多く、製品精度の高さを実感できたと思われる。

また各製品の組立ての段階で、Oリングシールを傷つけやすく製品修理の際の注意すべきポイントを学んでいただけたと思う。

またその他、シリンダの各種速度制御方法についても講習を行った。



製品実習の事前説明



斜板ポンプ分解状況



油圧電磁弁分解状況



シリンダ速度制御方法 1



シリンダ速度制御方法 2

場所 機械振興会館 B3-2 会議室

参加 2 社 2 名

講師 日本フルードパワー工業会 大熊

事務局 大熊

空気圧トレーニングキットを使用し、指定された空気圧回路において、各空気圧機器にどのような現象が発生するかを、参加者が体験した。各実施項目は以下の通り。

- ・残圧排気弁
- ・シリンダの速度制御
- ・シリンダのエアクッション
- ・サイレンサの消音効果
- ・2 位置シングル・ダブルソレノイド
- ・クローズドセンタ
 - 中間停止・残圧排気・再起動
- ・エキゾーストセンタ
 - 中間停止・飛出し防止・停止制度
- ・プレッシャセンタ
 - 両加圧回路・非常停止と再起動・残圧排気



製品実習実施状況 1



製品実習実施状況 2

空気圧基礎講座【製品実習】

日時 2022 年 11 月 16 日 (水) 13:00～16:20



製品実習実施状況 3

製品実習終了時には参加者全員が空気圧回路を詳しく読めるようになり、また微妙な調整によりシリンダの速度制御の違いや各種の3ポジションバルブの使分けによって中間位置での停止条件の違いなどを詳しく学ぶことができた。

空気圧基礎講座【座学】

日時 2022年11月18日(金) 13:00～16:30

場所 機械振興会館 6-61 会議室

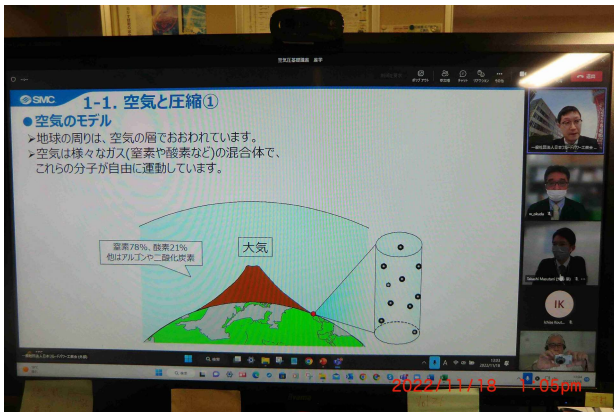
参加 2社 2名

講師 SMC(株) 市瀬 様

事務局 大熊

市瀬様より以下の項目について説明を行った。

- ・空気圧とは
- ・空気圧システムの基本構成
- ・圧縮空気について
- ・圧縮空気清浄化機器
- ・配管と接続
- ・管接手
- ・空気圧調整ユニット
- ・アクチュエータ
- ・速度制御弁
- ・方向制御弁



実施状況 1



実施状況 2

前回までの受講方法としては、座学→製品実習の順番で行っていたが、今回の受講方法は、製品実習→座学で行った。今回参加された方に製品実習→座学の順番で講座を受けたことについて質問したところ、『事前に製品を触っていたため座学の際に理解度が増し、多くの質問ができた』、とのことであった。今後は製品実習の後に座学を実施する方向で日程調整を行うようにする。

～～～～～～～～～～
今後の主要行事予定
～～～～～～～～～～

※2022 年

☆12月22日(木) 政策委員会

※2023 年

☆1月11日(水) 理事会・年始会

☆3月24日(金) 政策委員会

☆4月21日(金) 理事会・懇親会

☆5月18日(木) 定時総会・懇親会

☆5月19日(金) JFPA ゴルフ懇親会

～～～～～～～～～～
11月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)
～～～～～～～～～～

(需要対策事業)
総需要部会空気圧分科会
開催日 11月10日(木)

出席者
主 査 植田康德 (SMC)
委 員 中間正道 (中間正道行政法務事務所)
〃 岡田尚利 (小金井)

総需要部会油圧分科会

開催日 11月11日(金)

出席者
主 査 松井紀人 (カヤバ)
委 員 中間正道 (中間正道行政法務事務所)
〃 長尾 誠 (イトン)
〃 中島一成 (TAIYO)
〃 簗和田雄二 (東京計器)
〃 上田真也 (ナブテスコ)
〃 手塚隆広 (油研工業)

(標準化事業)

油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 11月1日(火)

出席者
主 査 難波竹己 (日本ボール)
委 員 遠藤剛 (SMC)
〃 水落桂 (大生工業)
〃 三宅孝明 (大生工業)
〃 長谷川康憲 (油研工業)
〃 菖蒲紀子 (ENEOS)
〃 阪口拓也 (MORESCO)

空気圧システム分科会

開催日 11月8日(火)

出席者
主 査 鈴木一成 (コンバム)
委 員 張本護平 (SMC)
〃 寺木功一 (コガネイ)
〃 増尾秀三 (CKD)
〃 宮本秀樹 (TAIYO)

空気圧バルブ分科会

開催日 11月9日(水)

出席者
主 査 山崎慎也 (SMC)
委 員 田路渡 (甲南電機)
〃 保坂周一 (コガネイ)
〃 谷口恵亮 (TAIYO)

油圧システム分科会

開催日 11月15日(火)

出席者
主 査 町田哲治 (東京計器)
委 員 伊藤隆 (カヤバ)
〃 中川幸隆 (川崎重工業)
〃 山本裕 (ボッシュ・レックスロス)
〃 柏野智 (油研工業)

ISO/TC131/SC6/WG1 国際会議

開催日 11月2日(水)

出席者
委 員 難波竹己 (日本ボール)
〃 阪口拓也 (MORESCO)

ISO/TC131/SC6/WG3 国際会議

開催日 11月3日(木)

出席者
委 員 難波竹己 (日本ボール)
〃 阪口拓也 (MORESCO)

ISO/TC131/SC6 国際会議

開催日 11月4日(金)

出席者
委 員 難波竹己 (日本ボール)
〃 阪口拓也 (MORESCO)

ISO/TC131/SC3/WG2 国際会議

開催日 11月8日(火)

出席者
委 員 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)

ISO/TC118/SC3/WG4 国際会議

開催日 11月9日(水)

出席者
委 員 田野功二 (瓜生製作)
〃 石川さやか (瓜生製作)
〃 金井陽二 (ヨコタ工業)

ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議

開催日 11月9日(水)

出席者
委 員 妹尾満 (SMC)
〃 眞田一志 (横浜国立大学)

ISO/TC118/SC3/WG4 国際会議

開催日 11月30日(水)

出席者
委 員 田野功二 (瓜生製作)

- 〃 久門崇也（瓜生製作）
- 〃 金井陽二（ヨコタ工業）

（技術調査事業）

空気圧部会・第 596 回特許分科会

開催日 11 月 11 日（金）

幹 事 安田善仁（甲南電機）

委 員 井野雅康（SMC）

〃 松本啓佑（コガネイ）

〃 瀧 芳久（CKD）

I o T 推進部会

開催日 11 月 25 日（金）

出席者

部会長 満嶋弘二（カヤバ）

委 員 園部達郎（ASK）

〃 山科裕司（ASK）

〃 高橋和弘（カヤバ）

〃 谷田部隆史（カヤバ）

〃 石井哲也（川崎重工業）

〃 友部勇樹（光陽精機）

〃 鶴賀寿和（CKD）

〃 小杉文人（東京計器）

〃 渡邊克也（日本ムーグ）

〃 浦井隆宏（ボッシュ・レックスロス）

〃 永野卓（油研工業）

〃 小野篤志（ヨコタ工業）

（PL 対策事業）

PL 保険セミナー

日 時 11 月 2 日（水）

【会社名のみ】

参加企業 日本メクマン

〃 三明電機

〃 三輪精機

〃 堀内機械

〃 日本精器

〃 光陽精機

〃 理研機器

〃 不二ラテックス

〃 大生工業

〃 ワールドインシュアランスページェンシー

（振興対策事業）

産機建機部会

開催日 11 月 18 日（金）

出席者

部会長 寺田 稔（ダイキン工業）

委 員 前山宣則（カヤバ）

〃 本高健治（川崎重工業）

〃 手塚隆広（油研工業）

（その他事業）

油圧基礎講座（初級）製品実習

開催日（製品実習）11 月 11 日（金）

講 師 原田隆史（川崎重工業）

【会社名のみ】

参加企業 日本ムーグ（正会員）

〃 堀内機械（正会員）

〃 タイヨーインターナショナル（正会員）

〃 三菱重工機械システム（正会員）

〃 日本伸銅（賛助会員）

空気圧基礎講座（初級）座学・製品実習

開催日（座学） 11 月 18 日（金）

講 師 市瀬恒太（SMC）

開催日（製品実習）11 月 16 日（水）

講 師 大熊正博（日本フルトパワー工業会）

【会社名のみ】

参加企業 アズビル TACO（正会員）

〃 日本メクマン（賛助会員）

〃 扶桑チューブパーツ（賛助会員）

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<11 月>

1 日（火）

・標準化（委）油圧フィルタ・作動油分科会

2 日（水）

・PL 保険セミナー

8 日（火）～13 日（日）

・振興対策 JIMTOF2022 日本国際工作機械見本市

8 日（火）

・標準化（委）空気圧システム分科会

9 日（水）

・標準化（委）空気圧バルブ分科会

10 日（木）

・需要対策（委）空気圧分科会

11 日（金）

・需要対策（委）油圧分科会

・技術委員会空気圧部会第 596 回特許分科会

・油圧基礎講座 製品実習

15 日（火）

- ・標準化（委）油圧システム分科会

16 日（水）

- ・空気圧基礎講座 製品実習

18 日（金）

- ・空気圧基礎講座 座学
- ・振興対策 産機建機部会

25 日（金）

- ・技術（委）I o T推進部会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
